学習の成果に係る評価について

学業成績は、授業科目担当者が筆記・レポート・課題・実技を総合的に評価します。
評価は S・A・B・C・D・F をもって表示し、C 以上を合格とし合格者は、その科目の所定の単位を与えられます。

(1)成績と成績評価基準は次の通りとする。

| 成　績 | 評価 | | 備考 |
|---|---|---|---|
| 100～90 点 | S | 合格 | |
| 89～80 点 | A | 合格 | |
| 79～70 点 | B | 合格 | |
| 69～60 点 | C | 合格 | |
| 59～30 | D | 不合格 | 再試験受験　可 |
| 29 以下 | F | 不合格 | 再試験受験　不可 |

(2)　成績評価とグレードポイント(GP)

| 点数 | 評価 | 評価のレベル | GP |
|---|---|---|---|
| 100～90 | S | 基準を大きく超えて優秀である | 4.00 |
| 89～80 | A | 基準を超えて優秀である | 3.00 |
| 79～70 | B | 望ましい基準に達している | 2.00 |
| 69～60 | C | 単位を認める最低限の基準に達している | 1.00 |
| 59～30 | D | 基準を下回る | 0.00 |
| 29～0 | F | 基準を大きく下回る | 0.00 |

※成績評価のS・A・B・Cが合格D・Fは不合格で、合格した授業科目に所定の単位が認定される。

(3)グレードポイントアベレージ(GPA)算出方法は、それぞれの評価のGPに単位数を乗じた値の和を、総履修単位数で除することで算出する。

$$\frac{「S」の修得単位数\times 4.0+「A」の修得単位数\times 3.0+「B」の修得単位数\times 2.0+「C」の修得単位数\times 1.0}{総履修登録単位数(「D」・「F」の単位数を含む)}$$

・GPAは小数点以下第 3 位を四捨五入し、小数点以下第 2 位までの数値とする。

(4) GPA の活用については以下の通りとします。

① 特待生の審査

② 各種奨学金受給者の選考

③ 卒業時特別表彰者の選考

④ 算出した学期 GPA が、1.0 未満の場合には、次学期の履修上限単位を 5 単位厳格化する。

⑤ 算出した学期 GPA が、1.0 未満の場合には、個別に履修指導を行うものとする。

⑥ 算出した学期 GPA が、0.5 以下の場合には、退学勧告を行うものとする。

⑦ 授業科目履修者に求められる成績水準の設定

⑧ 教員間もしくは授業科目間の成績評価基準の平準化

卒業に必要な単位数

1 単位の認定

授業科目の試験に合格したものに対し単位を認定する。2 回の遅刻をもって当該授業 1 回の欠課とみなす。

2 卒業に必要な単位

本学に 2 ケ年以上在学し、次の(1)及び(2)の内容を含む総計 62 単位以上を修得することが必要です。

(1) 基礎教養科目　14 単位以上必修

(2) 専門教育科目　48 単位以上